

視察報告書

平成30年1月19日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会
(代表) 議員 大月 悦子



政務活動費により行政視察を実施しましたので、次のとおり報告します。

記

1 視察期間 平成30年1月18日(木) 13:00~16:00

2 視察先 主催 東京インタープレイ株式会社
共催 株式会社NTTドコモ/ドコモCS中国
会場 松江市東朝日町88-1 ドコモ島根ビル

3 視察議員名 大月 悦子

4 面会者 講師 福岡 誠志広島県三次市議会議員

5 視察目的 議員・自治体職員限定
タブレットから始まるICT化と「開かれた議会」

6 研修の経過及び感想

13:00 開会あいさつ 主催者代表 米田英輝

この研修会には全国から約450名参加している

95自治体がドコモ iPad 導入している

13:10 特別講演 議会ICT化と「開かれた議会」への展望 別紙資料

講師 福岡 誠志広島県三次市議会議員

講演の概要

三次市は平成16年の合併時には62,000近い人口が現在53,200人と減少

議員定数は24人 現在23人

平成29年6月の定例会からすべての議員がタブレットを使用

タブレット導入は議会のみ、執行部は検討中とのこと

導入の経緯は添付資料の通りですが、概要は以下の通り

H25年3月 市議会だより編集の中から、広報公聴常任委員会化

三重県鳥羽市視察から、タブレット導入の研究がスタート

導入の障壁は市長の理解？予算措置、執行部をどう取り込むか・・・

ワシには使えん！ダメじゃ！ホントに必要なのか？

広報広聴常任委員会&事務局で取り組みがスタート

H26年7月 取組①全議員対象研修会開催

8月 会派別基本操作研修会の開催

H27年9月 取組② 定例会で広報広聴常任委員長報告

(積極的に推進する 議会の強い決意を表明、執行部へ協力依頼)

11月 取組③ 第三次三次市行財政改革推進計画

議会サイド行財政改革推進特別委員会での調査・検討

タブレット導入は全庁的な取り組み(双方必要)

議会運営委員会で確認

H28年6月 取組④ タブレット導入検討会議設置

12月 12月定例会でタブレット導入関係補正予算可決

機種・クラウドの選定

使用ルール決める

タブレット運用方法の説明 茗荷議会事務局係長

☆会議開催などの連絡に使用・・・メッセージ機能で議員と確認している

☆議員個々のフォルダを作成

☆災害対策本部の情報をリアルタイムに提供(議員はどこでも閲覧できる)

議会災害対策連絡会議を設置

☆セキュリティ対策

☆課題 1. 執行部側の導入時期

2. 個々のスキルアップ(議員・事務局)

3. 使用基準の遵守

4. IOSアップデートへの対応

5. 資料の印刷(議会は印刷しないので、

会派でプリンターを購入)

6. 議員負担額(通信回線料の 1/2)の見直し 2,000/月

14:10 SideBooksと全国事例の紹介 米田英輝代表

テーマ 議会・行政に浸透するタブレットとICT活用 別紙資料

内容 1. ペーパーレス会議の導入

2. SideBooksの基本動作 実際体験する

3. クラウド本棚とフォルダ等

15:20 共催企業講演

テーマ 議会におけるICT活用ソリューションの提案

ドコモCS中国島根支店 中田光俊 エバンジェリスト

参加者 24名 島根県の議会事務局が多い、鳥取県では倉吉市、南部町の議員

南部町は議員全員がタブレット持参している、今後導入に向けて取り組むために参加したとのことでした。

昨年12月に二か所の議会でタブレット導入についての説明を受け、今回は企業の方からより、具体的な使用方法を学ぶことが出来ました。

導入に向けては焦らず、丁寧に話し合いそして、何よりも触って体験してみる事が一步に繋がる。ほとんどの方は最後にはこんな便利なものと云われているようでした。理屈で説明するのではなく一緒にやりましょうという気持ちを大切にしていきたいと思います。

研修で得たことを議会に還元できるようこれからも研鑽していきます。

ありがとうございました。

7 添付書類

(1) 講師関係者名刺一覧

講演レジュメ

(2) -----

要した経費： 1 人合計 5,580 円